

2020年度

 **Fグループ**

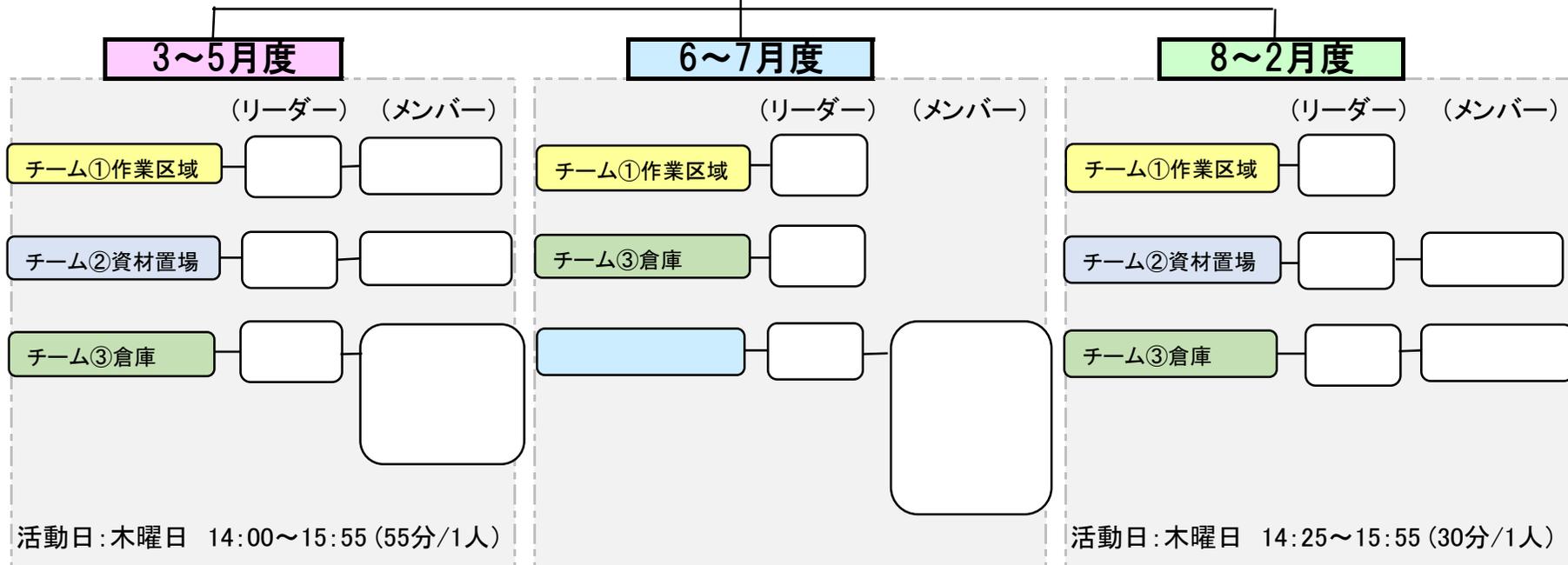
3S 年間活動報告

2020年度 年間活動指標

ものの住所を決める(定置化)

Fグループ チーム活動 編成図

グループリーダー:



チーム別活動場所



チーム① 作業区域

『Before』



- ・追加工具が収納出来ていない
- ・ヤスリ棒やスキージーの数量が一目で分らない

『After』



- ・1品目1住所で定置化、表示ラベルの貼付で戻しやすくした
- ・ヤスリ棒やスキージーを見える化⇒有無が一目でわかるようになった



- ・仮表示のままになっている
- ・ケースに多種類の部材が乱雑に保管



- ・表示ラベルの統一
- ・1品目1住所に変更
(容量オーバーの改善)

チーム② 資材置場

『Before』



棚段②③の2Sが不十分



・モノが重ね置きされている
・表示が無い



・1つの箱に部品が混在
・分類が分かりにくい

『After』



・再整理後、収納を統一
・②段は平置きし見える化する
・表示ラベル貼付



・置き方の変更
・収納・表示ラベルの統一



・A～C段を1品目1住所で配置
・収納・表示ラベルの統一

チーム③ 倉庫

『Before』



3Sが全く出来ていない状態

加工場



『After』



・作業するエリアを独立させ
作業環境を整える

工場資材棚



3Sが出来ていない状態
(表示がなく分類されていない)



・表示ラベル
・収納の高さ統一
・2Sの完了(以降継続)

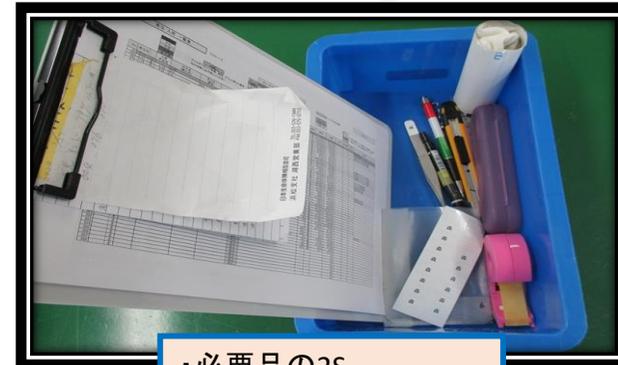
個別工具箱

『整理前』



・私物と必要品が混在している
(個々に物量が違う)

『整理後』



・必需品の2S
・私物はロッカーに置く

『見える化』



・必需品のみ姿置きで保管

『作業中』



・必需品を共通ポシェットにて持出使用

巡回チェックの改善

※活動内にて完了

		色分け:	職制合	チーム①	チーム②	チーム③	エリア外				
		状況:	済	済	済	検査項目	済				
		該当項目数:	3項目	6項目	2項目	4項目	3項目	更新日: 1/20	2020/12/23 S会議での報告		
場所	2020/6/25 巡回チェック 指摘事項	担当	活動日	状況	備考	評価	対策				
チーム①	作業台廻りの電源コード、エアホースの整線	[白抜き]	7/31	済							
チーム①②③	作業区域、資材置き場、倉庫等の棚の表示				済		○	棚のメイン表示→大きくて良い			
チーム①	作業区域 床面の電源コード（作業台用・扇風機）のたるみ、はみ出しあり 転倒などの事故の可能性あり			7/31	済						
チーム①	ネジラック 並び順、表示の改善 → チーム①やることリスト3にて 9/10~9/24活動			9/10~	済	現状の状態にて表示を行う					
チーム①	ファイル（作業手順書）の棚からはみ出し			8/27	済	ストッパーを製作済					
チーム①	エージング棚 延長コードの固定方法の改善、コードの整線			10/15	済	インシュロック・コンベックスベアにて固定					
チーム②	資材部屋 反射シート棚下の台車の出っ張り			7/10~ 8/27	済	追加事項：安室の高のキャスター止用と角あてをして完了とする					
	流し台下の備品類の表示 ※エリア対象外			7/9	済						
チーム③	倉庫 木材の立てかけ、棚の裏側に置かれた不用品、不急品			8/27~	済	11/21~12/17	×	長物置場の棚上の部材→NG 安全な場所に移動			
チーム③	逆テナー上の保管ルール（またがって置かない）			7/末	済						
チーム③	ボール盤周辺の整理整頓			7/16~ 10/22	済						
事務所	（玄関付近 サンプル品の表示） ※エリア対象外			10/22	済	随時行う					
検査室	（検査室 箱の直置き、棚のぐらつき（耐震対策）） ※エリア対象外			10/2	済	随時行う					

定置化後の効果および成果

前年度

19. 04. 25 下記のリストのものを探し、 持ってきてください
DC ケーブル (中継コード) 1. 0m CLH2017052901 ヒットコーポレーション 1 本
探しモノ時間 1 分 29 秒
担当：内藤

モノ探し計測



今年度

告：21/3/18(木)	
DCケーブル(丸コード)	
1.0m	
CLH2017052901	
1本	
探しモノ	持出時間
	45秒
担当：内藤	
感想：	
今までの入れ物が違うのと場所が変わっていた 為探すのに時間がかかってしまった。 中分類(線材・シール類など)の位置がしっか り分かっていたらもう少し早く探索できると思 う。	

★活動後のメリット

- ◎1品目1住所で定置化し、表示ラベルに「品名/品番/仕様」を表記し、部品を間違えることなく持ち出すことが可能になった。
- ◎棚板ごとにコンテナの高さを揃えたことで空間の無駄を削減できた。
- ◎上記以外の部品の持出が活動前と比較して、およそ半分ほど時短できていた。

★今後の課題

- 誰でも見つけやすくなるよう、「大分類/中分類/小分類」での表示区分や色別などの改善が必要。
- 目線より高い、および低い場所に保管している見えにくいモノを分かり易くする。



更なるモノ探しの時短に繋がられると期待できる。

